



幸前 信雄 議員

「市役所の改善活動」・ 「財政指標」について

問 市役所の改善活動内容は。

答 整理整頓を意味する「2S活動」と、誰でも一定の基準で業務を行うことができるようにする「標準化活動」の2点。

問 過去の活動との違いは。

答 「2S」活動は、過去にも取組み、成果を出していたが定着しなかったため、活動を上司に報告する仕組みをつくり定着を図る。「標準化活動」では、考え方を根付かせるため、少人数ごとに毎週研修会を実施。

問 市役所の2S活動は。

答 庁舎移転に合わせ2S活動を実施し、不要なものを廃棄。移転後は、保管ルールを設け、増えない仕組みの構築を図っているところ。今後は、電子化された文書類の基準の設定と継続的な見直しを実施。

問 市役所窓口で、マイナンバーカードを活用

したワンストップサービスを考えているか。

答 4月から本格稼働する基幹システムで「待ち時間短縮」に努めており、今後、マイナンバーカードを活用したワンストップサービスを実現するために、国の利用制限等の調整が必要であり、時期を見て考えたい。

問 平成29年度当初予算を執行した場合の経常収支比率は。

答 扶助費は増加するものの、情報システム業務委託料の減少、事務事業の見直しで、今年度の見込みより、1.3%減の88.4%と試算。

問 平成29年度末の市債の借入残見込みは。

答 72億6,700万円を見込み、ピーク時の45%の水準。

問 平成29年度末の基金残高の見込みは。

答 約27億3,900万円を見込む。

問 平成29年度の財政力指数は。

答 1.03を見込み、引き続き不交付団体を見込む。



神谷 直子 議員

市民生活の 利便性向上について

問 納税時のインターネットバンキングやクレジットカードの利用について。

答 税の納付方法の一つとして検討すべき。他市の事例を研究しながら、引き続き検討したいと考えています。

問 住民票の写し等のコンビニ発行について。

答 マイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票の写し等を発行するサービスです。

問 市の窓口で発行する場合と、コンビニ交付ではコストはどうか？また、発行手数料は？

答 コストは、窓口が660円、コンビニが345円。効果があると考えています。発行手数料は、現行どおり窓口・コンビニとも同額です。

高齢者の生活環境向上について

問 相談場所と支援につなげる対策は？

答 福祉まるごと相談で、健康な方、介護の必要な方も、いろいろな相談を受けています。総

合的な支援へとつなげています。

問 高齢者を見守る体制は？

答 民生委員さんやシルバー人材センターの見守り推進員さんがしており、訪問しています。

問 今後増えることが見込まれる認知症対策について、早期診断・早期対応は？

答 H25年度から認知症初期集中支援チームが事例検討を行っています。今後は、複数の専門職が本人やご家族に認知症支援を行い、自立生活のサポートを行える体制を整備していきます。

問 認知症の方々を地域で支える仕組みは？

答 認知症サポーターの養成をしてきました。

問 認知症サポーターの地域活躍の場は？

答 復習を兼ねた上級講座の開催と、交流活動など、共に理解を深める取組みを考えています。

問 健康自生地について？

答 体験や仲間ができる取組みをしていきたい。

問 脳とからだの健康チェックの「認知症予防スタッフ」について

答 健康自生地で、コグニサイズ体操をはじめとした介護予防や、認知症予防を推進するための活動を、認知症予防スタッフの皆さんに実施していただきたいと考えています。